

『蝶と 太鼓と 読書の 佐仁小』

『太鼓』・・・郷土教育の充実

地域のよさを知り、
伝統文化を継承する活動

佐仁太鼓

伝統の佐仁太鼓は、上級生が下級生に叩き方を教えて引き継ぎます。敬老会や運動会、学習発表会などで発表します。



島口・島唄・むかしの遊び



地域の方に島口(方言)を教えてもらい、朝読み・夕読み放送で話しています。佐仁集落独特の方言を使えるようになりたいです。



地域の方から、島唄を教えていただき、敬老会や学習発表会で披露しています。今年は、「八月踊りの唄」ができるようになろうと練習を始めました。大きな声でうたえるようになりたいです。



老人クラブの方々に、昔の遊び『モォーイ、マー』と『かんかん道』を教えていただきました。呼びかけの言葉を島口で言って、楽しく遊んでいます。



お年寄り宅訪問

11月に、校区のお年寄り宅訪問をします。「きょうろう〜」(こんにちは)と大きな声であいさつをすると、にこにこ顔で出てこられます。自分たちで種から育てた花の苗とお手紙を届け、楽しくお話をしました。

年賀状を出そう

日ごろお世話になっている校区の方々に、児童全員で年賀状を書きました。



きび植え・黒糖作り

4月に、校区の方に協力をいただき、キビの植え付けをしました。子どもたちは初めての経験です。



2月には、ウギパギ(キビの皮はぎ)と、黒糖作りをします。大事に育てたサトウキビから、あまくておいしい黒ざとうを作るのが楽しみです。

